

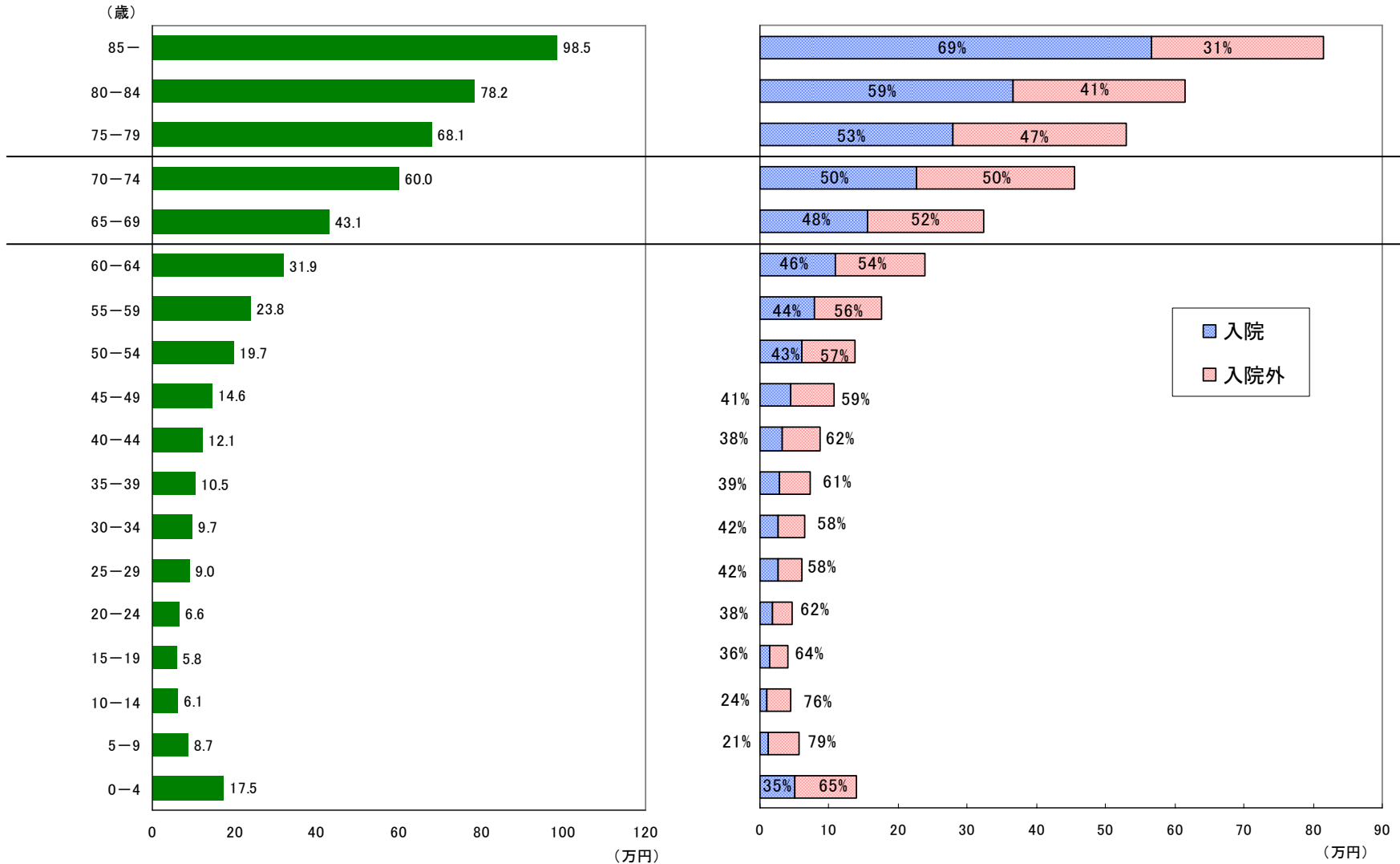
(1) 高齢者の受診動向等について

年齢階級別一人当たり医療費(平成16年度)(医療保険制度分)

1人当たり医科診療費を見ると、前期高齢期までは入院より入院外(外来)の比率が高いが、後期高齢期に入るとその比率が逆転する。

(医療費計)

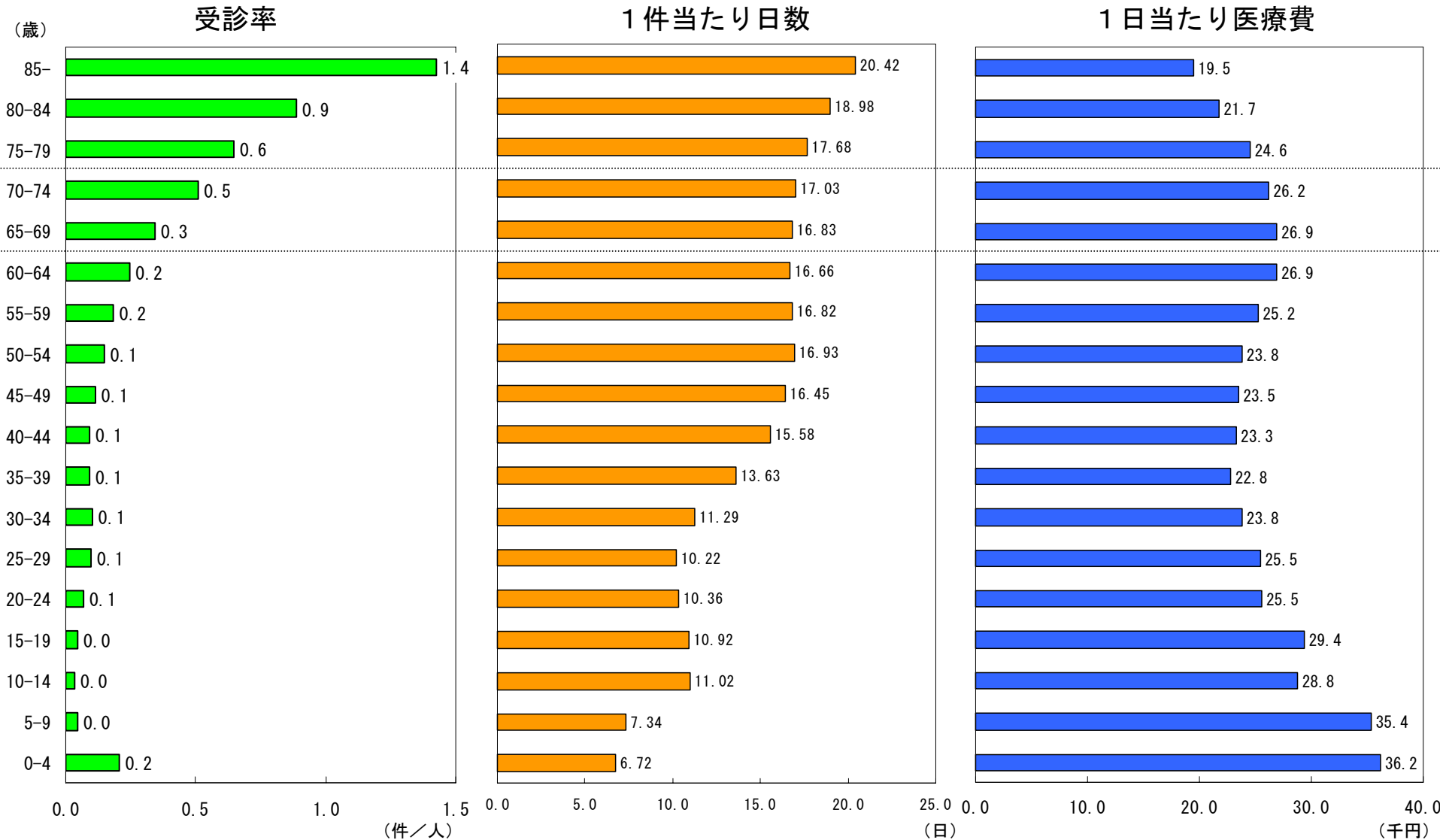
(医科診療費)



※ 「医療給付受給者状況調査報告」(社会保険庁)、「国民健康保険医療給付実態調査報告」(厚生労働省保険局)等より作成

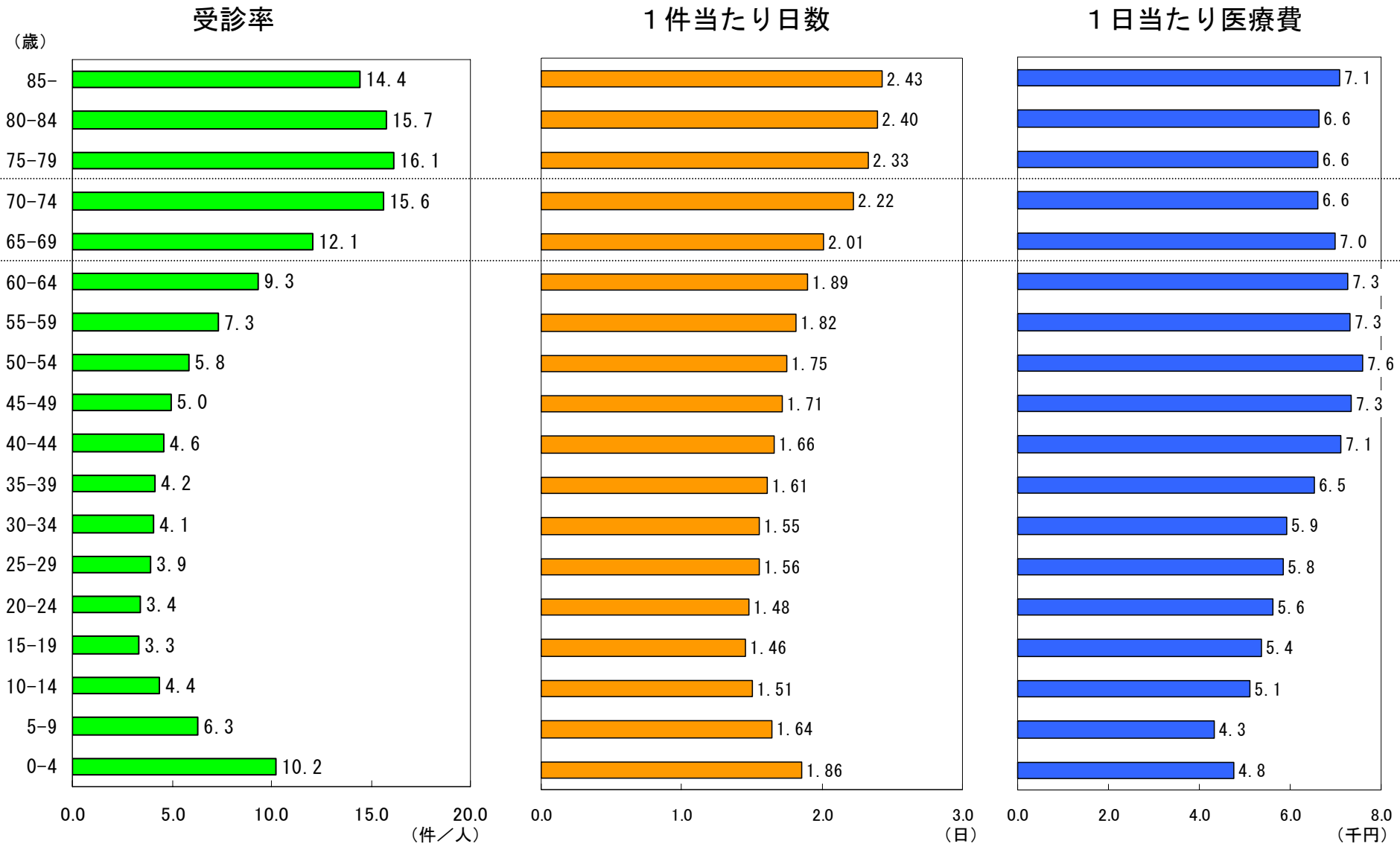
年齢階級別 三要素(入院、平成16年度)

入院医療費について、三要素（受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費）に分解して見ると、後期高齢期に入ると受診率が急増するとともに、1件当たり日数が世代間で最も高くなる一方、1日当たり医療費は低くなる。



年齢階級別 三要素(入院外、平成16年度)

入院外医療費について、三要素（受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費）に分解して見ると、年齢が上がるごとに増加していた受診率が、後期高齢者の中では年齢とともに低下する。



※ 「医療給付受給者状況調査報告」(社会保険庁)、「国民健康保険医療給付実態調査報告」(厚生労働省保険局)等より作成

高齢者の医療機関への受診の実態

- 現在の高齢者の約86%は、1ヶ月の間に、一度は医療機関にかかっており、うち、約81%は通院で医療機関にかかっている。入院している者は約7%。
- 1月にかかる患者1人当たりの医療費は、入院の場合は約48万円、通院で4万円弱となっている。
- 通院の場合のかかった医療機関の数をみると、1件が約50%、2件が約22%、3件以上が約9%となっている。
- 通院の場合の1ヶ月間の受診日数は、5日以下が約68%、6～10日が約8%、11日以上が約5%となっている。

老人医療受給対象者の受診の動向（平成17年11月）

1ヶ月の間に、医療機関にかかった者の割合	86.2%
うち、入院	7.0%
うち、入院外	81.0%
うち、歯科	11.8%

医療機関にかかった者1人当たりの医療費	
入院	48.2万円
入院外	3.8万円
歯科	1.8万円

入院外で医療機関にかかった者の受診頻度

かかった医療機関の数	1件	2件	3件	4件	5件以上	合計
構成割合	49.6%	22.4%	6.8%	1.6%	0.5%	81.0%
1ヶ月間の受診日数	～5日	6～10日	11～15日	16～20日	20日～	合計
構成割合	67.9%	8.2%	2.9%	1.1%	0.9%	81.0%

- (注) 1. 被用者保険の被保険者及び被扶養者である老人医療受給対象者について、同一の老人医療受給対象者に係るレセプトを合計し、個人単位のデータにして集計したもの。(出典：老人医療受給対象者の受診の動向(被用者保険加入者分)保険局調査課)
2. 入院外の医療費には、薬剤の支給費用額を含んでおり、入院及び歯科の医療費は、食事療養(医科)費用額または食事療養(歯科)費用額を含んでいる。

総括表

老人医療受給対象者の受診の動向(平成17年11月)

患者割合・老人1人当たり医療費・患者1人当たり医療費の推移

	患者割合				老人1人当たり医療費(円)				患者1人当たり医療費(円)			
	合計	入院外	入院	歯科	合計	入院外	入院	歯科	合計	入院外	入院	歯科
H16年11月	85.3%	80.3%	6.7%	11.3%	63,276	29,186	32,028	2,062	74,152	36,358	475,138	18,199
12月	86.0%	80.9%	6.8%	11.5%	65,192	30,398	32,687	2,108	75,839	37,584	483,014	18,256
H17年1月	83.9%	78.6%	6.8%	10.3%	62,412	27,418	33,307	1,687	74,372	34,884	491,833	16,407
2月	84.0%	78.6%	7.1%	10.5%	61,256	27,253	32,174	1,829	72,886	34,670	455,700	17,462
3月	86.6%	81.2%	7.5%	11.4%	69,332	31,077	36,172	2,083	80,072	38,270	481,569	18,202
4月	86.1%	80.7%	7.1%	11.5%	66,040	30,792	33,181	2,068	76,687	38,136	468,568	18,049
5月	85.5%	80.1%	6.9%	11.3%	64,981	29,316	33,713	1,952	76,033	36,580	486,081	17,255
6月	86.0%	80.8%	7.0%	11.5%	65,833	30,496	33,245	2,091	76,573	37,758	477,003	18,128
7月	85.7%	80.6%	6.9%	11.1%	65,542	30,415	33,145	1,982	76,445	37,728	482,377	17,883
8月	85.8%	80.7%	6.9%	10.8%	66,692	31,055	33,773	1,863	77,711	38,483	485,997	17,316
9月	85.4%	80.3%	6.7%	10.8%	64,407	30,327	32,179	1,900	75,441	37,786	478,211	17,574
10月	85.8%	80.7%	6.9%	11.5%	66,049	30,656	33,342	2,051	76,954	38,008	483,383	17,794
11月	86.2%	81.0%	7.0%	11.8%	66,435	30,581	33,751	2,103	77,050	37,768	481,832	17,823
	(1.0%)	(0.9%)	(3.9%)	(4.1%)	(5.0%)	(4.8%)	(5.4%)	(2.0%)	(3.9%)	(3.9%)	(1.4%)	(-2.1%)

- (注) 1. 集計対象は、被用者保険の被保険者及び被扶養者である老人医療受給対象者である。
 2. 同一の老人医療受給対象者にかかるレセプトを合計し、個人単位のデータにして集計したものである。「名寄せ」という。
 3. 名寄せにあたってマッチング出来なかったレセプトは除外して集計した上で、全体の医療費及びレセプトの件数が月報の数値と一致するように補正している。
 4. 括弧内は対前年同月比である。
 5. 患者割合とは、入院外、入院、歯科の診療を受けた者の数を老人医療受給対象者数で除したものである。
 6. 入院外の医療費には、薬剤の支給費用額を含んでおり、入院及び歯科の医療費は、食事療養(医科)費用額または食事療養(歯科)費用額を含んでいる。

終末期における医療費について

(平成14年度)

1年間の死亡者について死亡前1ヶ月間にかかった医療費を年間の終末期医療費とした場合、

1年間の死亡者数(平成14年) 98万人⁽²⁾

うち、医療機関での死亡者数 80万人・・・①

死亡前1ヶ月の平均医療費 112万円⁽¹⁾・・・②

○ 1年間にかかる終末期医療費

$$\text{①} \times \text{②} = \underline{\text{約9,000億円}}$$

(参考)

(1) 1件当たり入院医療費(1ヶ月単位)は、約41万円。

(2) 年間の死亡者数は、近年、平均で年2万人程度の増加傾向。
今後10年間は、年2万人を超えるペースで増加すると推計されている。

資料出所:医療経済研究機構「終末期におけるケアに係わる制度及び政策に関する研究」(平成12年3月)等を基に、厚生労働省保険局調査課において推計